

聖句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書6章13節

【礼拝式次第】

司式 井上里王
奏楽 中枝田上屋
受付 付内藤井土
案内 係三井土
名札 祈禱
礼拝感謝 祈禱

前奏 中里同
讃美歌 24 一 同
使徒信条 566 // 衆
交読文 15 司・会
主の祈り 564 一 同
聖書詩篇 51篇 司 会
12節~14節
祈禱 井上同
新聖歌 203 一 同
み言葉の伝え 足立
「新しい正しい霊」
讃美歌 355 一 同
献金 井上屋
礼拝感謝 井上屋
// // 土屋
報告 井上
頌栄 541 一 同
祝禱(派遣) 中村征一郎
後奏 新聖歌 58 聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈禱会 10月18日午後7:30より
早天祈禱会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
交わり会 本日礼拝後
婦人会・信仰会 本日交わり会後
青年会
聖書輪読会 10月22日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈禱会 10月22日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は信徒奨励日として足立 長老に講壇を守って戴きました。ご奉仕感謝致します。
☆本日は交わり会がございます。お時間のございます方は是非お残り下さい。
☆交わり会後婦人会、信仰会、青年会が予定されております。お時間のあります方はぜひお残り下さい。
☆明16日東葛分区所属の牧師方が当教会及びメーヤー館をお訪ね下さる予定です。東総分区の諸教会状況に関心を持たれてのことと推察しております。
☆先週神学校日に捧げられました献金額は総計39,100円でした。神学校のお働きのために用いさせていただきます。ご献金有り難うございました。
☆10月18日(水)幼稚園秋の遠足が予定されております。天候が守られますよう、また事故なきようご加禱下さい。
☆次週22日の講壇担当は朴貞蓮牧師です。又、29日は小原正先生に講壇を守って戴く予定です。お覚え下さい。
☆11月3日(金)は恒例のバザーです。献品を受付けております。受付締切は30日(月)です。ご協力下さい。又、11月は6日が長老会・CS教師会、12日が召天者記念礼拝及び墓前礼拝、19日が幼児祝福礼拝、26日が謝恩日(第二献金)となっております。
☆星野富弘カレンダー申込受付を開始しました。購入希望の方はお名前、購入冊数を週報欄横にございます購入受付表にお書き下さい。11月12日締切です。

【先週集会状況】

Table with columns: 集会名, 男, 女, 計, 早天祈禱会 (日, 男, 女, 計)

主日礼拝献金(10/8).....55,198円
教会学校献金(10/8).....6,450円

【今日のメッセージ】

題 [新しい正しい霊]
聖書 詩篇51篇12節~14節

- 1.この世の思い
2.信仰告白
3.新しい正しい霊とは

【次週(10月22日)礼拝案内】

題 [諦めという勇断]
聖書 ヨシュア記6:1~20
交読文 40
讃美歌 75番 161番
新聖歌 255番

【次週(10月22日)礼拝当番者】

御言葉の伝え... 朴貞蓮
司式者... 森川村部
奏楽者... 中阿王屋
受付者... 阿王屋
案内者... 土屋
名札当番... 土屋
礼拝感謝祈禱... 葉寺
// // ... 葉寺
csお話し... 朴貞蓮
会堂清掃者... 幼稚園教諭
// // ...
花係... 小林田
看板書き... 藤

「もう、互いに裁き合わないようになりよう!」と
パウロは言う。互いに裁き合わないようになりよう!」と
達が平和に、互いに裁き合わないようになりよう!」と
は私達に良く分かることである。これこそ私
が否定的に評価されることは嬉しくない。誰か
分の価値を認めて欲しいのである。誰か
は分かっていても、私達は自分自身を言わ
くせに他人に対しては批判的になんか言わ
なのだろう。他人を批判するとき私達は言
が痛むという経験をしなさい。私達は言わ
なことを言う。私達は言わなさい。私達は言
さまた、自傷している。私達は言わなさい。私

【聖書から】
従って、もう互いに裁き合わないようになり
しよう。むしろつまずきとなるものや、妨
げとなるものを、兄弟の前に置かないよう
決心しなさい。」
ローマ書一四章一三節

点にほとほと嫌気なさい。
く心から自由になれな
為が罪と深い心は自分
つまり深く心は自分
て人を断罪しようとする
に、対し、パウロは「む
や、妨げとなるものを、
決心しなさい。」と言
辱の言葉、傲慢な言葉、
葉や振舞で己の怒りを
相手を怒らせる。これ
は大事である。己の怒
い。大それたことをし
うな生き方から離れな
そのようない点から私
互いの欠点をも私達
し、数限りない欠点をも
あ挫折し返す。私達
そあ挫折し返す。私達

【礼拝心得】

- ①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈禱の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報欄を整理し、欠席者に週報を届ける。